

心を一つにして被災者支援を

江南市消防隊が 宮城県亘理町で救助活動

3月11日発生の大震災と津波で壊滅的な被害を受けた宮城県亘理町（わたりちょう）に、13日江南市の消防署員7人が、消防ポンプ車と資機材運搬車にボートや、自らの食糧などを積んで、救援の活動に参加しました。救助隊は、一軒一軒を回り、捜索活動をおこない、遺体の収用なども行ってきたとのこと。

さらに第2陣が17日に、続けて20日・23日にそれぞれ5人、26日に7人が宮城県山元町などに出勤する予定です。20時間もかけて現地につき2日間活動し、次の部隊と交代します。本当にご苦労様です。またパッカー車や給水・水道

被災者支援と 防災計画の見直しなどを 江南市に申し入れ

森 ケイ子・東よしき議員とかげのまち子さんは、3月22日（火）石川副市長に会い、東日本大震災の被災者救援と防災対策について申し入れをおこない、救援活動の取り組みについて報告を聞きました。

申し入れでは（要旨）

1. 救援活動について

県などからの「要請待ち」ではなくできることは率先しておこなうことを前提に、

- *被災者住宅は、民間賃貸住宅の借り上げや、個人からの住宅提供の申し出も受けて情報提供すること。
- *職員のボランティアを募り、休暇等を保障すること。
- *市民ボランティアも希望者を募り、愛知の大震災ボランティア支援連絡会等の派遣に協力することなど

2. 防災計画の見直しについて

現在の防災計画が、東海地震を想定し、マグニチュード8.0、震度5強であり、今回のマグニチュード9.0には対応できないことから、震度7以上を基本に抜本的な見直しをおこなうこと。

当面、市役所や体育館の耐震補強や改修計画を進めること。

23年度完成予定の防災行政無線の防災ラジオを希望者には低額で提供すること

3. 消防の広域化は行わないこと。
4. 原発の安全神話が崩れた今、稼働中の原発の総点検と原発中心のエネルギー政策から自然エネルギーへの転換を国に求めること。
5. 想定東海地震の震源域の真上にある浜岡原発の運転停止と万全の安全対策を中電に申し入れること。

巡回バスを走らせよう

いこまいCAR予約便の料金引き下げへの署名は、返信用封筒でも届いています。みなさんの協力で1500人を超えました。引き続き取り組んでいます。
みんなの力で実現させましょう！

江南団地にも被災者用住宅があります

都市整備機構（市営住宅公社）は愛知県内で360戸の被災者用住宅を確保したとのこと。その中には江南団地も含まれます。内容は、6ヶ月間の家賃と敷金が免除されます。被災証明があれば入居できるということです。お知らせいなどで、家を失ってこちらに移り住みたいという希望の方があれば、まず相談してみてください。相談は、日本共産党議員団または江南団地管理事務所（5818261）江南市土木建築課まで。また市内の県営住宅に2世帯が移って来ておられるとのこと。

の復旧活動なども要請があり次第派遣する予定です。



江南市も7品目について

物資の提供を受け付け

市民のみなさんから要望や問い合わせの多い、物資の提供について、県と共同して、次の7品目に限って、市民からの提供を受け付けています。

- *受付は、3月28日まで
- *7品目とは：保存米飯 パックご飯 レトルトご飯 かん詰米飯 乾燥米飯 即席めん 乾パン プルトップ式缶詰 粉ミルク 紙おむつ 生理用品
- *新品のものに限る。
- *食料品の賞味期限は3カ月以上
- *同じものを大量に持ち込む時は、ダンボールに詰めて。
- *受付場所 市役所1階ロビー
- 午前9時から午後5時まで
- 26日（土）・27日（日）も可

被災者救援募金にご協力を

日本共産党対策本部に届いた募金の中から福島、宮城、岩手の3県の知事に、それぞれ100万円づつ3000万円が手渡されました。今後も順次届けるとともに、炊き出しなど被災者の救援にも使われます。

ご協力をお願いします。募金は、森（57-2753）東（54-7977）かけの（53-7727）まで

JCC 青年会議所も 支援物資を受け付け

JCCでは新品の衣類や日用品、使い捨てカイロ・懐中電灯・電池・ラップ・マスク等）を受け付けています。持ち込む際には、品目ごとにまとめて箱詰めにしてほしいとのこと。受付場所は、江南青年会議所事務局（江南商工会議所1階）詳しくは、江南青年会議所ホームページをご覧ください。

